

政策シート 政策名 02 安全・安心な医療の提供

予算費目名 01 市立病院政策事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

市民の生命と健康を守るため、高度・先進医療、不採算医療等を提供するとともに、公立病院と民間病院の役割分担と連携強化により、誰もが、いつでも安心して医療サービスの提供を受けることができる体制を整備する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	133,420	105,873				
決算	131,544	105,872				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	68,000	68,000	68,000			
年間経費(予算又は決算+A+B)	199,544	173,872	68,000			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新病院整備における都市下水路移設工事進捗率	%	目標	60.95	100				
		実績	67	100				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

市民の生命と健康を守るため、高度・先進医療、不採算医療等を提供するとともに、公立病院と民間病院の役割分担と連携強化により、誰もが、いつでも安心して医療サービスの提供を受けることができる体制を整備した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・市立病院の効率的な経営により、安定した医療サービスを提供することができた。 ・浜松医療センター新病院整備事業における都市下水路の移設工事の進捗率は100%となり、目標を達成した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市立病院政策事業	—	—	—		68,000		9.2	1.0			
2	新病院整備関連準備事業	—	—	—	【5							
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						68,000		9.2	1.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	02	001053000	01	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 市立病院政策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市立病院の安定した経営を持続するために、病院事業に関する企画、運営及び調査を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算						
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		67,300	67,300	68,000			
人工	正規	9.1	9.1	9.2			
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		67,300	67,300	68,000			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 02 02 001053000 01 病院管理課 徳増 淳 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・病院事業の企画、運営及び調査
- ・指定管理者との総合調整
- ・浜松医療センター、浜松市リハビリテーション病院、浜松市国民健康保険佐久間病院の連携、協力に関する調整



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

市立病院の効率的な経営により、安定した医療サービスを提供することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

ウィズコロナを前提とした医療提供体制強化が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

誰もが、いつでも安心して医療サービスを受けることができる環境を整えるため、必要不可欠な事業である。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市立病院の健全経営により、安定した医療提供体制を維持する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・病院事業の企画、運営及び調査
- ・指定管理者との総合調整
- ・浜松医療センター、浜松市リハビリテーション病院、浜松市国民健康保険佐久間病院の連携、協力に関する調整

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	02	001053000	02	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

事業シート

(事業名) 02 新病院整備関連準備事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松医療センターの新病院を整備するにあたり、建設予定地の事前整備等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29	R2	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	133,420	105,873				
	決算	131,544	105,872				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	131,544	105,872				
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		132,244	106,572				

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
新病院整備における都市下水路移設工事進捗率(%)		—	目標	61%	100%				
			実績	67%	100%				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 02 政策 02 予算費目 02 所属コード 001053000 事業 02 (担当課) 病院管理課 (責任者) 徳増 淳 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○都市下水路移設整備事業
都市下水路の移設工事を実施した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・都市下水路の移設工事の進捗率は100%となり、目標を達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
浜松医療センター新病院を整備するにあたり、必要不可欠な事業として、令和2年度で完了した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

政策シート

政策名 **02 安全・安心な医療の提供**

予算費目名 **02 病院会計支出金**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

公立病院としての使命を果たすための医療提供体制を整備し、安全・安心な病院事業運営を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	2,121,328	2,097,943	2,111,852			
決算	2,105,210	2,084,866				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400			
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,106,610	2,086,266	2,113,252			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
浜松医療センターの経常収支比率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	119.4	117.1				
浜松市リハビリテーション病院の経常収支比率	%	目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

公立病院としての使命を果たすための医療提供体制を整備し、安全・安心な病院事業運営を行う。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
地方交付税の算定基準に基づき、浜松医療センター・浜松市リハビリテーション病院に対する負担金を支出することにより、地域の医療水準を維持するとともに、安全・安心な医療を提供することができた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	病院事業会計負担金	—	—	—		2,113,252	2,111,852	0.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,113,252	2,111,852	0.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 病院事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全・安心な地域医療の提供を担う公立病院を安定運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S48	—	一般会計	自治事務(その他)	地方公営企業法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,121,328	2,097,943	2,111,852			
	決算	2,105,210	2,084,866				
	国・県支出		21,458				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	2,105,210	2,063,408	2,111,852			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400			
人工	正規	0.2	0.2	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,106,610	2,086,266	2,113,252			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
浜松医療センターの経常収支比率 (%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	119.4	117.1				
浜松市リハビリテーション病院の経 常収支比率(%)			目標	99.6	100	100	100	100	100
			実績	100.5	101.0				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 02 政策 02 予算費目 02 所属コード 001053000 事業 01 (担当課) 病院管理課 (責任者) 徳増 淳 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

浜松医療センター・浜松市リハビリテーション病院に対し、下記①②の経費を一般会計から負担した。

①その性質上地方公営企業に負担させることが適当でない経費。(救急医療を確保するための経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第1号

②その地方公営企業の性質上当該企業に負担させることが困難な経費。(高度・特殊医療等に要する経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第2号



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

浜松医療センターは、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少が顕著であったが、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての患者受入れなどに対する国県の補助制度を活用することで、経常収支比率100%以上を維持することができた。

浜松市リハビリテーション病院は、医業収益の増加や新型コロナウイルス感染症対策関連補助制度を活用し、安定した病院運営を行ったことにより、経常収支比率100%以上を維持することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

ウィズコロナを前提とした医療提供体制強化が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

負担金により、救急・高度・特殊医療など地域医療水準を維持し、安全・安心な医療を提供することができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

地域の医療水準を確保するため、企業会計収入(診療報酬)で賄いきれない部分について、引き続き市の責務として、市一般会計から支援していく。しかしながら、市民の理解のもと、安全・安心な地域医療を提供し続けるためには、負担基準の明確化はもとより、各病院事業の経営健全化をさらに進め、より安定した経営基盤を築いていくことが必要である。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

浜松医療センター・浜松市リハビリテーション病院に対し、下記①②の経費を一般会計から負担する。

①その性質上地方公営企業に負担させることが適当でない経費。(救急医療を確保するための経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第1号

②その地方公営企業の性質上当該企業に負担させることが困難な経費。(高度・特殊医療等に要する経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第2号

政策シート

政策名 **02 安全・安心な医療の提供**

予算費目名 **03 浜松市病院事業会計（医療センター）**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後)	◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。
----------------	---

政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。
----------------	---

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

安全・安心な地域医療を提供するという公立病院としての使命を、将来にわたり安定・継続的に果たしていく。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	4,438,913	6,137,392	7,845,310			
決算	4,320,682	6,066,974				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	5,600	5,600	5,600			
年間経費(予算又は決算+A+B)	4,326,282	6,072,574	7,850,910			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
経常収支比率	%	目標	100	100	100		100	100
		実績	119.4	117.1				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

安全・安心な地域医療を提供するという公立病院としての使命を、将来にわたり安定・継続的に果たしていく。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

経常収支比率は117.1%となり、目標値100%を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市病院事業（医療センター事業費用）	—	—	○		3,020,928	3,016,028	0.7				
2	浜松市病院事業（医療センター資本的支出）	—	○	○		4,829,982	4,829,282	0.1				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,850,910	7,845,310	0.8				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	03	001053000	01	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 浜松市病院事業(医療センター事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公立病院としての使命を将来にわたり安定・継続的に果たしながら、安全・安心な地域医療を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S48	—	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,376,252	3,827,319	3,016,028			
	決算	2,287,308	3,787,040				
	国・県支出	71,850	1,338,144	853,450			
	市債						
	その他	517,238	794,953	535,101			
	一般財源						
	一般会計繰入金	1,698,220	1,653,943	1,627,477			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900			
人工	正規	0.7	0.7	0.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,292,208	3,791,940	3,020,928			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
経常収支比率100%以上を維持 (%)		—	目標	100	100	100	100	100	100
			実績	119.4	117.1				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 02 03 001053000 01 病院管理課 徳増 淳 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・地域の中核病院として、市内の救急医療の役割を果たし、また、総合診療体制の下、病診連携による開放型病院として地域に貢献し、浜松医科大学の関連教育病院として医師の育成に貢献するなど、安全・安心な地域医療を提供した。
・また、新型コロナウイルス感染症への対応については、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として患者の受入れ、治療にあたった。
・病院事業会計内の事業として、病院事業の適正かつ効率的な運営をチェックする評価委員会運営事業、病院施設管理運営事業など、安全・安心な地域医療提供を支える施設管理業務等を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・経常収支比率100%以上を維持し、安定的経営の継続を果たした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・ウィズコロナを前提とした医療提供体制強化が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少が顕著であったが、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての患者受入れなどに対する国県の補助制度を活用することで、経常収支比率100%以上を維持することができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、経常収支比率100%以上を達成し、安定的経営を継続することで、新病院整備の取り組みを円滑に進める。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・地域の中核病院として、市内の救急医療の役割を果たし、また、総合診療体制の下、病診連携による開放型病院として地域に貢献し、浜松医科大学の関連教育病院として医師の育成に貢献するなど、安全・安心な地域医療を提供する。
・病院事業会計内の事業として、病院事業の適正かつ効率的な運営をチェックする評価委員会運営事業、病院施設管理運営事業など、安全・安心な地域医療提供を支える施設管理業務等を行う。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	03	001053000	02	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

事業シート (事業名) 02 浜松市病院事業(医療センター資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公立病院としての使命を将来にわたり安定・継続的に果たしながら、安全・安心な地域医療を提供するために必要な病院環境を整備維持する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S48	—	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	110						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,062,661	2,310,073	4,829,282			
	決算	2,033,374	2,279,934				
	国・県支出	133,439	96,427	10,000			
	市債	293,800	615,100	3,137,000			
	その他	1,606,135	1,542,976	1,612,450			
	一般財源 一般会計繰入金		25,431	69,832			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,034,074	2,280,634	4,829,982			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
新病院整備率(%)		110	目標	2.5	3.7	11.5	35.6	82.2	92.9
			実績	2.5	4.5				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	03	001053000	02	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目№110】

- ・医療機器購入及び院内整備工事事業
浜松医療センターが公立病院として安全・安心な地域医療を提供するうえで整備が必要な医療機器の購入や、施設整備を行った。
- ・浜松医療センター新病院建設事業
新病院整備に向け、実施設計業務委託を完了し、新病院棟の建設工事に着手した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・整備に必要な医療機器の購入(98件)及び施設整備(21件)を行った。
- ・新病院整備に向けた取り組みとして、実施設計業務委託を完了し、新病院棟の建設工事に着手した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・ウィズコロナを前提とした医療提供体制強化が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・医療機器については、費用対効果や収益性を考慮し、予算の範囲内で優先順位をつけ、計画的に購入した。
- ・新病院実施設計業務を完了し、新病院棟の建設工事に着手した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・指定管理者と医療機器の必要性等を協議し、計画的に購入することで安全・安心な医療を提供していく。
- ・新病院整備事業では、設計段階から施工業者が関与するECI方式やエネルギー供給の資金調達から設計・施工・管理までを長期にわたって事業者が実施するエネルギーサービス事業を導入し、建設・維持コストの縮減を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目№110】

- ・医療機器購入及び院内整備工事事業
浜松医療センターが公立病院として安全・安心な地域医療を提供するうえで整備が必要な医療機器の購入や、施設整備を行う。
- ・浜松医療センター新病院建設事業
令和5年度の新病院開院に向け、新病院棟の整備工事を進める。

政策シート

政策名 **02 安全・安心な医療の提供**

予算費目名 **04 浜松市病院事業会計（リハビリ病院）**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後)	◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。
政策の柱 (10年後)	◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・社会復帰を目指す患者に対する専門的かつ高度なリハビリテーション医療を提供する使命を、将来にわたって安定・継続的に果たしていく。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	4,150,550	4,285,924	4,237,922			
決算	4,041,658	4,205,653				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	5,600	5,600	5,600			
年間経費(予算又は決算+A+B)	4,047,258	4,211,253	4,243,522			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
経常収支比率	%	目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・社会復帰を目指す患者に対する専門的かつ高度なリハビリテーション医療を安定・継続的に提供した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<p>・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、スポーツリハビリテーションや嚥下障害リハビリテーションなど専門的かつ高度なリハビリテーション医療を提供した。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市病院事業（リハビリ 病院事業費用）	—	—	○		3,964,224	3,959,324	0.7				
2	浜松市病院事業（リハビリ 病院資本的支出）	—	—	○		279,298	278,598	0.1				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						4,243,522	4,237,922	0.8				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	04	001053000	01	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 浜松市病院事業(リハビリ病院事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・社会復帰を目指した専門的かつ高度なリハビリテーション医療を、将来にわたり安定して地域に提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H11	-	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	3,876,072	3,971,120	3,959,324			
	決算	3,792,679	3,919,875				
	国・県支出	412	15,704				
	市債						
	その他	3,462,880	3,587,498	3,645,694			
	一般財源 一般会計繰入金	329,387	316,673	313,630			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900			
人工	正規	0.7	0.7	0.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,797,579	3,924,775	3,964,224			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
経常収支比率(%)		-	目標	99.6	100	100	100	100	100
			実績	100.5	101.0				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 02 04 001053000 01 病院管理課 徳増 淳 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、専門的かつ高度なリハビリテーション医療を提供した。
- ・病院事業会計内の事業としては、病院事業の適正かつ効率的な運営をチェックする評価委員会運営事業など、安全・安心なリハビリテーション医療の提供を支える施設管理業務等を行った。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・看護師や療法士を確保することで高い病床利用率を維持し、健全経営に努めるとともに、スポーツリハビリテーションや嚥下障害リハビリテーションなど特色ある事業を行い、地域医療に貢献することができた。
- ・病院事業の適正かつ効率的な運営をチェックする評価委員会運営事業など、安全・安心なリハビリテーション医療の提供を支える施設管理業務等を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・ウィズコロナを前提とした医療提供体制強化が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・病床利用コントロールを病棟看護課主体の運用に変更したことで、高い病床利用率の維持と安定した病床管理が可能となった。
- ・看護師や療法士を確保し、カンファレンスや報告書のテンプレート化など運用を整理したことで、患者へのリハビリテーション提供数が向上した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・病床機能の変更に伴うリハビリ提供単位数の増加、入院料の体制強化加算を取得することで収益の増加を図る。また、それに伴う事業費の増加が見込まれるが、収支のバランスを確保しながら病院運営を進めていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、専門的かつ高度なリハビリテーション医療を提供する。
- ・病院事業会計内の事業としては、病院事業の適正かつ効率的な運営をチェックする評価委員会運営事業など、安全・安心なリハビリテーション医療の提供を支える施設管理業務等を行う。
- ・病床機能の変更に伴うリハビリ提供単位数の増加等を行い、患者へのリハビリ医療サービス向上を図る。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	04	001053000	02	病院管理課	徳増 淳	R3.7.1

事業シート (事業名) 02 浜松市病院事業(リハビリ病院資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・社会復帰を目指した専門的かつ高度なリハビリテーション医療を、将来にわたり安定して地域に提供するために必要な病院環境を整備維持する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H11	-	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	274,478	314,804	278,598			
	決算	248,979	285,778				
	国・県支出						
	市債	27,500	41,800				
	その他	143,876	155,159	177,685			
	一般財源						
	一般会計繰入金	77,603	88,819	100,913			
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		249,679	286,478	279,298			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
経常収支比率(%)			目標	99.6	100	100	100	100	100
			実績	100.5	101.0				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 02 政策 02 予算費目 04 所属コード 001053000 事業 02 (担当課) 病院管理課 (責任者) 徳増 淳 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、安全・安心なリハビリテーション医療を提供するうえで、必要な医療機器の購入や施設整備を行った。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、安全・安心なリハビリテーション医療を提供するために最新の医療機器を購入した。
・機能訓練棟熱源設備更新工事を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・ウィズコロナを前提とした医療提供体制強化が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・リハビリテーション先進医療機器の導入により、これまで以上に質の高い最先端のリハビリテーション医療を提供できた。
・機能訓練棟熱源設備更新工事を実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

最新の医療機器を計画的に購入し、安全・安心なリハビリテーション医療を提供していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、安全・安心なリハビリテーション医療を提供するうえで、必要な医療機器の購入や施設整備を行う。

政策シート

政策名 **02 安全・安心な医療の提供**

予算費目名 **05 保健所運営総務費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **05 健康・福祉**

理想の姿 (30年後)	◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。
政策の柱 (10年後)	◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 **02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実**

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

- ・市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る専門的、技術的拠点である保健所施設等の整備・充実を図る。
- ・医療機関の立入検査や市民からの医療相談を受けるなど、医療に対する安心と信頼の確保に努める。
- ・より多くの市民に薬物乱用防止の啓発を行う。
- ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。
- ・狂犬病の発生を未然に防止する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	62,027	114,182	158,016			
決算	56,448	176,210				
人件費(報酬等)(A)	3,381	1,709				
人件費(人工分)(B)	180,940	180,140	180,140			
年間経費(予算又は決算+A+B)	240,769	358,059	338,156			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
立入検査指摘事項のない医療機関の割合	%	目標	75	75	76	77	79	80
		実績	73	-				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- ・市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る専門的、技術的拠点である保健所等施設の適正な維持管理を行うとともに、今後の施設のあり方を検討する。
- ・医療機関の立入検査や市民からの医療相談を受けるなど、医療に対する安心と信頼の確保に努める。
- ・より多くの市民に薬物乱用防止の啓発を行う。
- ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。
- ・狂犬病の発生を未然に防止する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	遅れている
<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、立入検査や普及啓発事業等の中止・縮小を余儀なくされ、十分な活動ができなかった。また、新型コロナウイルス感染症対応業務について、保健総務課職員を生活衛生課業務として対応を行ったため通常業務にも遅れが生じた。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	保健所等維持管理事業	—	—	—		73,722	38,842	3.8	0.2		2.7	
2	医療体制充実事業	—	—	○		95,330	5,230	11.5	0.8		2.4	
3	骨髄ドナー等助成事業	—	—	—		2,380	1,680	0.1				
4	家庭動物等管理事業	—	—	—		60,419	19,959	4.3			3.7	
5	PCR検査センター設置運営事業	—	—	—		19,898	11,498	1.0			0.5	
6	発熱等受診相談センター運営事業	—	—	—		85,459	80,559	0.7				
7	保健総務課デジタル運営経費	—	—	—		948	248	0.1				
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						338,156	158,016	21.5	1.0		9.3	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 保健所等維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る専門的、技術的拠点である保健所等施設の適正な維持管理を行うとともに、今後の施設のあり方を検討する。
 ・厚生労働行政に必要な基礎資料を得るため、統計法、人口動態等調査令等に基づく各種保健統計調査を行う。
 ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	-	一般会計	自治事務(法令義務)	地域保健法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	保健所等施設は、市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る拠点施設である。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	36,443	68,532	38,842			
	決算	32,718	62,943				
	国・県支出	1,902	10,412	129			
	市債						
	その他	296	208	974			
	一般財源 一般会計繰入金	30,520	52,323	37,739			
人件費(報酬等)(A)		3,381	1,709				
人件費(人工分)(B)		43,980	36,980	34,880			
人工	正規	4.9	3.9	3.8			
	再任用(h31)	0.2	0.2	0.2			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.2	3.2	2.7			
年間経費(予算又は決算+A+B)		80,079	101,632	73,722			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
年間電気使用量前年比1%減(KWh)	-	-	目標	158,060	156,479	154,915	153,365	151,832	150,313
			実績	157,475	160,520				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 02 政策 02 予算費目 05 所属コード 001081000 事業 01 (担当課) 保健総務課 (責任者) 袴田 雄三 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・保健所及び口腔保健医療センターの庁舎・設備並びに敷地内の維持・管理を行う。
- ・施設、設備の老朽化に伴う緊急対応としての工事や修繕の他、今後の施設のあり方を検討する。
- ・国民生活基礎調査、社会保障人口問題基礎調査、医師・歯科医師・薬剤師調査などの周期調査のほか、人口動態調査、医療施設動態調査、病院報告などの月例調査を行う。
- ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 遅れている

- ・年間電気使用量について、前年度比1%削減の目標に対して、1.9%増加し、目標を達成することができなかった。増加の理由は、新型コロナウイルス感染症対応により、保健所内各課において時間外勤務及び休日出勤が増加したためであり、やむを得ないものである。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療資材や人員不足などの問題が急激に発生したため、保健総務課職員を生活衛生課兼務として対応した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の発生による状況の変化を受け、国は「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」を改正し(4/1予定)、感染症対応にかかる保健所機能の強化を図るよう求めることとなっている。
- ・近年、保健所施設は庁舎機能が中心になっていたが、感染症や食中毒など健康危機管理対応機能の重要性が再認識されており、施設のあり方を見直す必要が生じている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 事業費 現状 人工 縮小

- ・災害時の保健医療調整本部用として非常用自家発電設備を整備した。また、老朽化した施設・設備等の修繕や工事等により、適切な維持・管理を行った。
- ・各種保健統計調査を適切に行うことにより、厚生労働行政に必要な基礎資料を得ることができた。
※新型コロナウイルス感染症対応業務(生活衛生課兼務)のため、年度途中から人工を縮小した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 その他 / 事業費 現状 人工 拡大

- ・保健所等施設のあり方を検討し、長寿化による大規模改修などの具体的な方策を決定する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・保健所及び口腔保健医療センターの庁舎・設備並びに敷地内の維持・管理を行う。
- ・施設、設備の老朽化に伴う緊急対応としての工事や修繕の他、今後の施設のあり方を検討する。
- ・国民生活基礎調査、社会保障人口問題基礎調査、医師・歯科医師・薬剤師調査などの周期調査のほか、人口動態調査、医療施設動態調査、病院報告などの月例調査を行う。
- ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。

事業シート (事業名) 02 医療体制充実事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

医療法等関係法令に基づき医療施設等に対し監視指導を実施し、良好な医療体制の確保及び充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	-	一般会計	自治事務(法令義務)	医療法、医薬品医療機器法、毒物劇物取締法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用を防止するための啓発活動を行うことで、市民の健康保持に資する。 ・毒物劇物等を取り扱う施設の監視指導を行い、有害化学物質による事故の発生を防止することで、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。 								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	6,302	5,243	5,230			
	決算	5,530	3,189				
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,530	3,189	5,230			
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		96,500	92,200	90,100			
人工	正規	12.3	11.8	11.5			
	再任用(h31)	1.8	0.8	0.8			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.4	2.4	2.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		102,030	95,389	95,330			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
立入検査時に指摘事項のない医療機関の割合(%)			目標	75	75	76	78	79	80
			実績	73	-				
医療相談納得度(%)			目標	95	95	95	95	95	95
			実績	94	94				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・病院、診療所、薬局等の許認可事務及び監視指導業務を実施する。また、医療法人の設立・解散等について認可を行うとともに、運営面の指導監督を行う。
- ・医療相談窓口を開設し、医療に関する患者等の苦情・相談に対応する。
- ・市が設置する食品衛生検査施設の検査信頼性確保のため、国の指定する機関による精度管理調査を行う。
- ・浜松市健康危機管理基本指針に基づき、市民の生命、健康を脅かす事態(食中毒、感染症、医薬品、医薬用外劇物・毒物、飲料水等)に対して的確に対応する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療機関の立入検査を実施できなかった。
- ・医療に関する患者等の苦情や相談911件(令和3年3月15日現在)に対応し、相談者の93.9%について納得を得ることができたが、目標達成には至らなかった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、立入検査の実施が困難となり、件数が伸びない要因となるおそれがある。
- ・休眠医療法人における法人格の売買が疑われる事例が全国的に散見され始めており、診療所等を全て廃止した医療法人については早期の解散を促す必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・薬局等の薬事関係施設116施設(令和3年3月15日現在)の立入調査を実施した。
- ・施術所222施設及び歯科技工所53施設の書面指導を実施した。
- ※新型コロナウイルス感染症対応業務(生活衛生課兼務)のため、年度途中から人工を縮小した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・立入調査関係書類の見直しを行い、立入検査項目の重点化を図る。
- ・課内の応援体制により効率的に業務を執行する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・病院、診療所、薬局等の許認可事務及び監視指導業務を実施する。また、医療法人の設立・解散等について認可を行うとともに、運営面の指導監督を行う。
- ・医療相談窓口を開設し、医療に関する患者等の苦情・相談に対応する。
- ・市が設置する食品衛生検査施設の検査信頼性確保のため、国の指定する機関による精度管理調査を行う。
- ・浜松市健康危機管理基本指針に基づき、市民の生命、健康を脅かす事態(食中毒、感染症、医薬品、医薬用外劇物・毒物、飲料水等)に対して的確に対応する。

事業シート (事業名) 03 骨髄ドナー等助成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市骨髄移植推進助成金を交付することにより、ドナーの負担を軽減し、骨髄・末梢血幹細胞移植の推進及びドナー登録の増加を図るため。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	-	一般会計	自治事務(法令義務)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律、浜松市骨髄移植推進助成金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	骨髄・末梢血幹細胞移植の推進により、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			1,680			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			1,680			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			700			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,380			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
助成金申請者数			目標			5.0	6.0	7.0	8.0
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)



(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



・要綱を整備し、助成金事業を開始する。
・骨髄バンク、移植手術を担当する医療センター・浜松医科大学付属病院等と連携し、事業がスタートしたことを周知するとともに、骨髄バンク登録者数の増加、骨髄・末梢血幹細胞移植の推進に繋げていく。

事業シート (事業名) 04 家庭動物等管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

狂犬病の発生を未然に防止する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
昭和49年度	—	一般会計	法定受託事務 自治事務(法令義務)	狂犬病予防法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	狂犬病(人獣共通感染症)の発生を未然に防止することで、市民の健康保持に資する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	19,282	20,052	19,959			
	決算	18,200	18,985				
	国・県支出						
	市債						
	その他	18,200	18,985	19,959			
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		40,460	40,460	40,460			
人工	正規	4.3	4.3	4.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.7	3.7	3.7			
年間経費(予算又は決算+A+B)		58,660	59,445	60,419			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
狂犬病予防注射実施割合(%)			目標	80	80	80	80	80	80
			実績	76.2	76.8				
咬傷事故発生時の改善率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	83.6	84				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 02 政策 02 予算費目 05 所属コード 001081000 事業 04 (担当課) 保健総務課 (責任者) 袴田 雄三 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・狂犬病予防注射事業の実施並びに当該予防注射に関する啓発活動を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、狂犬病予防集合注射を一部を除き取りやめた。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・狂犬病予防注射の実施に関する啓発を進めたことにより狂犬病発生の未然防止が図られた。
- ・狂犬病予防注射接種率は76.8%であり、目標値に届かなかったが、国が推奨する75%を上回っている。
- ・H29年度が80.8%、H30年度が78.4%、R元年度が76.2%、R2年度が76.8%とやや減少傾向である。
- ・咬傷事故改善率に関しては、咬傷の原因となった犬及び犬の飼い主が不明等により、指導に至らなかった事例があるため、目標値に届かなかった。
- ・狂犬病予防集合注射を一部を除き取りやめたが、接種率はR元年度と同等だった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・狂犬病予防法に規定されている狂犬病予防注射の接種時期が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、限定的に3月2日～6月末日から、3月2日～12月末日に延長する、一部改正が行われた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・狂犬病予防法に基づく、予防接種集合注射や迷い犬の保護を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、人が密になりやすい狂犬病予防集合注射を一部を除き取りやめたが、接種率はR元年度が76.2%、R2年度が76.8%と同等であった。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・狂犬病予防注射接種率の向上のための啓発を継続的に実施していく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、人が密になりやすい狂犬病予防集合注射については、天竜区を除き取りやめる。
- ・天竜区については、開設されている動物病院が少ないため、衛生的な獣医療が実施可能な会場を選定して狂犬病予防集合注射を行う。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

狂犬病予防注射事業の実施並びに当該予防注射に関する啓発活動を行う。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	05	001081000	05	保健総務課	袴田 雄三	R3.7.1

事業シート (事業名) 05 PCR検査センター設置運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・PCR検査センターの設置、運営により、新型コロナウイルス感染症の検体採取能力を拡充し、迅速に検査を実施できる体制を整備することで、感染拡大を抑える。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R2	-	一般会計	自治事務(その他)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、必要な検査体制を整備することで、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算		20,355	11,498			
	決算		52,872				
	国・県支出		45,304	1,163			
	市債						
	その他						
	一般財源		7,568	10,335			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)		7,000	8,400			
人工	正規		1.0	1.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)			59,872	19,898			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
受診調整後の検査実施率(%)			目標		100	100	100	100	100
			実績		100				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 02 政策 02 予算費目 05 所属コード 001081000 事業 05 (担当課) 保健総務課 (責任者) 袴田 雄三 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・PCR検査センターの設置工事、トレーラーハウスの使用貸借契約及び車両保険契約
- ・PCR検体採取場所に係る調整
- ・検査資材(検体採取用品、個人防護具等)の調達
- ・PCR検査センターの交通誘導委託(一部、職員が対応)
- ・PCR検体検査の委託
- ・仮設トイレ及びIPTランシーバーのレンタル契約



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・検査需要に応じて、ドライブスルー、ウォークスルー、パーキングスルー等の多様な手法を開発・運営し、必要な検査を100%実施することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・PCR検査、抗原検査等に対応可能な医療機関(帰国者・接触者外来、発熱等診療医療機関等)が増え、保健所が行う検査との役割分担ができるようになった。今後のワクチン接種の動向を注視しつつ、運営体制を変えていく必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・常に変化する検査需要に対して、試行錯誤を繰り返しつつ対応してきたため、十分な成果をあげることができた。今後も同様に実施していく。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルス感染症の終息をもって事業を終了する予定。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・PCR検査センターの設置及び運営、トレーラーハウスの車両保険契約
- ・PCR検体採取場所に係る調整
- ・検査資材(検体採取用品、個人防護具等)の調達
- ・PCR検査センターの交通誘導委託
- ・仮設トイレ及びIPTランシーバーのレンタル契約
- ※PCR検体検査委託は、生活衛生課に移管した

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	05	001081000	06	保健総務課	袴田 雄三	R3.7.1

事業シート (事業名) 06 発熱等受診相談センター運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

新型コロナウイルス感染症のまん延防止と市民の不安を軽減するため、感染の疑いがある市民からの電話相談及び発熱等診療医療機関への受診調整を行う相談センターを24時間体制で運営するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R2	-	一般会計	自治事務(その他)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市民の相談窓口体制を整備することで、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			80,559			
	決算		38,221				
	国・県支出		38,220				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金		1	80,559			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)			3,500	4,900			
人工	正規		0.5	0.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)			41,721	85,459			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・R2年10月に帰国者・接触者相談センターとして開設、国の制度改正に伴い、R2年11月から発熱等受診相談センターに改称。
- ・民間企業への委託により、感染の疑いがある市民からの電話相談の受付、受診調整を24時間体制で行うほか、感染者及び濃厚接触者の健康フォローアップ業務等を行った。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染症対応業務に携わる生活衛生課職員が専門的業務に集中できるようにするため、また時間外勤務の削減及びのため、民間企業への委託に関する契約及び調整を行った。
- ・相談件数等の増減にあわせて、委託先担当者的人数を柔軟に増減できるようにした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症対応については、状況に応じて制度が変わるため、国の動向等を注視し、柔軟に対応できるようにする必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・相談件数等の増減にあわせて、委託先担当者的人数を柔軟に増減できるようにし、概ね、順調に対応できた。
- ・事業費については、R3年度は年度末までの運営を見込んでおり、契約期間が長いいため増加する見込み。
- ・人工については、R2年度に福祉総務課が行っていた「浜松市新型コロナコールセンター」に係るシステム等の契約及び運用管理等を引き継ぐため増加する見込み。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルス感染症の終息をもって事業を終了する予定。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・発熱等受診相談センターとして、民間企業への委託により、感染の疑いがある市民からの電話相談の受付、受診調整を24時間体制で行うほか、感染者及び濃厚接触者の健康フォローアップ業務等を行う。
- ・コールセンターシステムの契約及び運用管理、関係課との調整業務を行う。

事業シート (事業名) 07 保健総務課デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「デジタルファースト宣言」に基づくデジタルトランスフォーメーションに関する予算を明確にするため、事業の再編を行い、デジタルに関する予算を集約するもの。医療救護本部医薬品確保用パソコン及び医療法人事業報告書の閲覧・交付用パソコンを対象とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	保健総務課業務のデジタル化により、市民が安心して暮らせる保健医療体制を確保する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			248			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			248			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			700			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				948			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 02 05 001081000 07 保健総務課 袴田 雄三 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンは、災害時用に設置している。
- ・医療法人事業報告書の閲覧・交付用パソコンは、窓口に配置しており、日常的に市民や事業者等に利用されている。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンは、インターネットに接続する使用可能なネットワークがなく、パソコンとしても接続できないよう設定されているため、災害時に想定する使用ができない状況となっている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・R2年度に新型コロナウイルス感染症対応用として、保健所庁舎内に業務用Wi-Fiが整備された。(健康医療課による整備)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンを保健所庁舎内の業務用Wi-Fiに接続できるよう設定を変更する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンは災害時用に設置しているが、保健所庁舎の業務用Wi-Fiに接続し、日常業務でも情報収集等に活用する。
- ・医療法人事業報告書の閲覧・交付用パソコンは、窓口に配置しており、日常的に市民や事業者等に利用されている。